

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和 7 年 7 月 1 日（火）

2 確認箇所

- ・減容処理設備（図 1）
- ・1号機原子炉建屋周辺（図 1）

3 確認項目

- （1）減容処理設備運用状況等の確認
- （2）1号機原子炉建屋大型カバー設置工事及び外周鉄骨の撤去状況

4 確認結果の概要

（1）減容処理設備運用状況等の確認

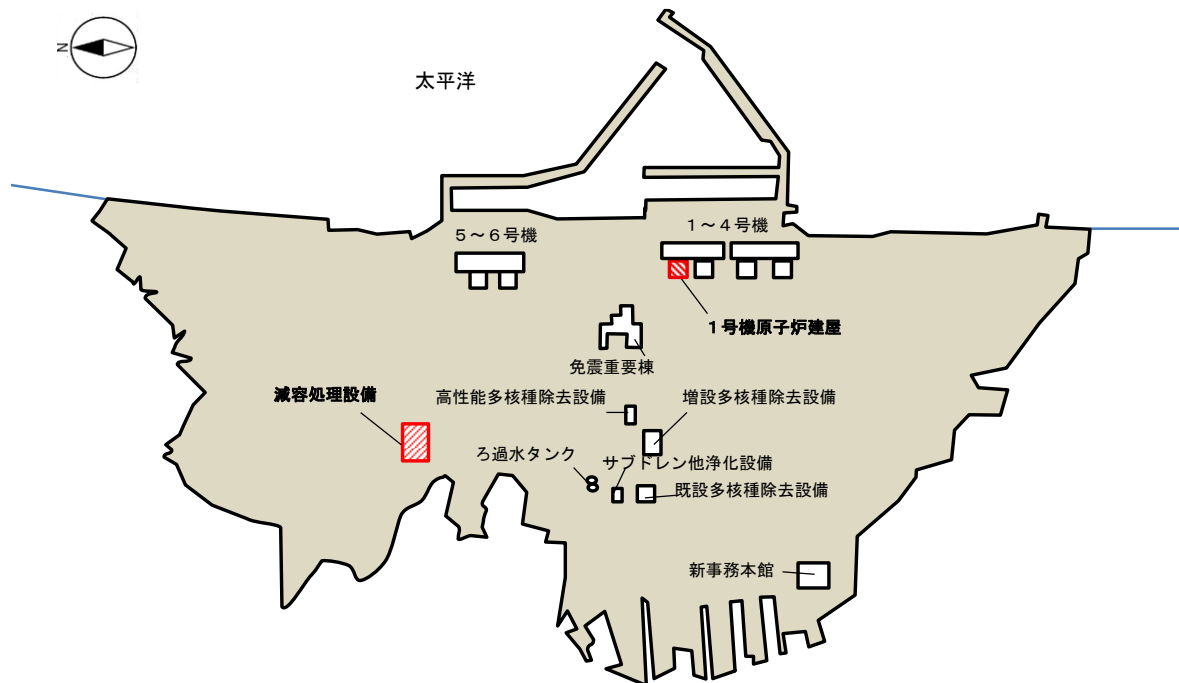
東京電力では、廃炉作業で発生した固体廃棄物のうち比較的放射線量の低い不燃性廃棄物であるコンクリート瓦礫類や金属くず等の容積を減らすため、減容処理設備を設置し令和 6 年 2 月から運用を開始している。今回は、減容処理設備の運用及び管理状況を確認した。（前回確認：令和 6 年 9 月 9 日）

- ・減容処理設備における廃棄物の搬入及び処理（切断）は、各手順書に従い、適正に行われていた。
- ・設備内の換気状況や空間線量率等はコントロール室で 24 時間監視されており、適正に管理されていた。（写真 1、2）

（2）1号機原子炉建屋大型カバー設置工事及び外周鉄骨の撤去状況

1号機原子炉建屋からの使用済燃料取り出しは、建屋全体を覆う大型カバーを設置後に実施する計画である。現在、大型カバー設置工事に併せて、大型カバー上部架構との接触リスクの低減等を目的として、原子炉建屋外周の鉄骨撤去作業が実施されていることから、その状況を確認した。（前回確認：令和 7 年 5 月 14 日）

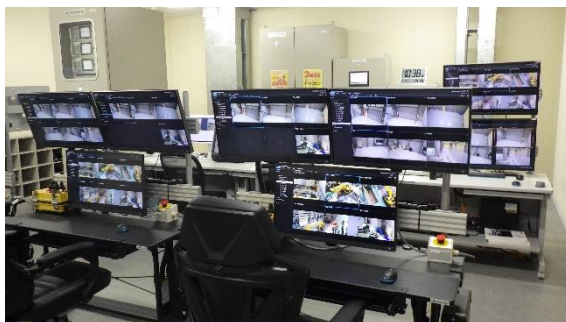
- ・前回確認時と比較し、外周鉄骨の撤去状況に変化は見られなかった。一方、原子炉建屋北面全域及び東面一部における上部架構の上にボックスリングの設置が進められていることを確認した。（写真 3、4）
- ・原子炉建屋北面、南面及び西面で、上部架構の設置が進められていた。また、6月27日にオペフロ東側においてSFP（使用済燃料プール）ゲートへの追加養生が完了しており、作業に伴う機材（クレーン等）はオペフロから撤去されていた。（写真 5）



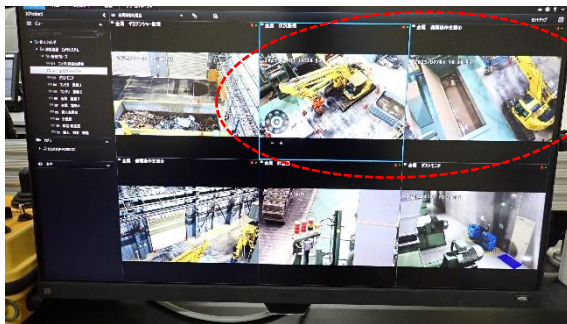
(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真 1 - 1)
減容処理設備の現況①
(トラックスケール：廃棄物の計量
及び線量を測定)



(写真 1 - 2)
減容処理設備の現況②
(コントロール室内を撮影)



(写真 2 - 1)
金属廃棄物減容室の管理運用状況①
(確認時は作業完了状態)



(写真 2 - 2)
金属廃棄物減容室の管理運用状況②
(計量及び各室線量のデータは、
一元管理されている。)



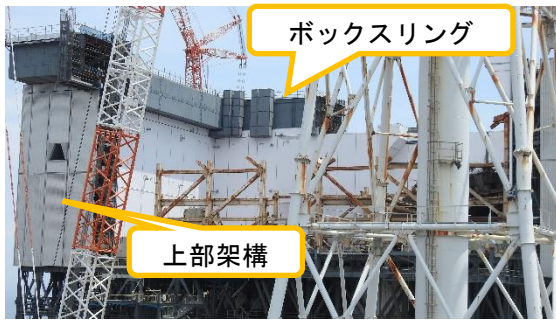
(写真 3 - 1)
原子炉建屋西面外周鉄骨一部撤去後
の状況
(令和 6 年 1 2 月 1 1 日撮影)



(写真 3 - 2)
原子炉建屋西面外周鉄骨一部撤去後
の状況
(令和 7 年 4 月 3 日撮影)



(写真 3 - 3)
原子炉建屋北面及び東面における
ボックスリング設置の状況①
(令和 7 年 7 月 1 日撮影)



(写真4)
原子炉建屋北面及び東面における
ボックスリング設置の状況②
(令和7年7月1日撮影)



(写真5)
原子炉建屋周囲全体に対する上部架
構の設置状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。